

令和6年中の火災・救急・救助の状況（統計）

1 火災の発生状況

(1) 火災発生件数と火災による死者、負傷者の数

令和6年中の火災発生件数は109件で、火災による死者は3人、負傷者は18人でした。

	令和6年	令和5年	前年比較
火災の発生件数	109件	94件	15件増加
火災による死者の数	3人	2人	1人増加
火災による負傷者の数	18人	10人	8人増加

(2) 火災の種別

火災種別で見ると、建物火災が最も多く、全体の66.1%を占めています。

また、建物火災の中でも、住宅で発生した火災は41件で、前年の36件よりも5件増加しています。

火災種別	令和6年	令和5年	前年比較
建物火災	72件	60件	12件増加
車両火災	11件	9件	2件増加
船舶火災	0件	1件	1件減少
航空機火災	0件	0件	—
その他火災	26件	24件	2件増加

※その他火災とは、建物・車両・船舶・航空機火災以外の火災をいう

(3) 出火原因

出火原因で見ると、放火・放火の疑い及びたばこが同率1位、3位がコード等の配線類の順となりました。

順位	令和6年	順位	令和5年
1位	放火・放火の疑い 18件	1位	放火・放火の疑い 16件
1位	たばこ 18件	2位	たばこ 13件
3位	コード等の配線類 13件	3位	電気機器・装置 7件

放火火災を防ぐ8つのポイント！



たばこ火災を防ぐ4つのポイント！



2 救急の出動状況

(1) 救急出動件数と搬送人員

令和6年中の救急出動件数は35,543件で、医療機関に搬送された人の数(搬送人員)は29,943人でした。

出動件数、搬送人員ともに過去最多となりました。

	令和6年	令和5年	前年比較
救急の出動件数	35,543件	35,006件	537件増加
搬送人員	29,943人	29,019人	924人増加

(2) 搬送人員の程度別

搬送人員を程度別で見ると、軽症が最も多く、全体の52.3%を占めています。

程度別	搬送人員	全体に占める割合*
軽 症 (入院を必要としない程度)	15,653人	52.3%
中等症 (20日以内の入院が必要な程度)	12,014人	40.1%
重 症 (21日以上入院が必要な程度)	1,980人	6.6%
死 亡	296人	1.0%

(3) 搬送人員の年齢別

搬送人員を年齢別で見ると、高齢者が最も多く、全体の64.5%を占めています。

年齢別	搬送人員	全体に占める割合*
新生児 (生後28日未満)	38人	0.1%
乳幼児 (生後28日以上、7歳未満)	1,349人	4.5%
少 年 (7歳以上、18歳未満)	806人	2.7%
成 人 (18歳以上、65歳未満)	8,424人	28.1%
高齢者 (65歳以上)	19,326人	64.5%

※全体に占める割合は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%となりません。

3 救助の出動状況

(1) 救助出動件数と救助人員

令和6年中の救助出動件数は836件で、救助された人の数（救助人員）は387人でした。

出動件数、救助人員ともに過去最多となりました。

	令和6年	令和5年	前年比較
救助の出動件数	836件	765件	71件増加
救助人員	387人	344人	43人増加

(2) 事故種別

事故種別でみると、建物等による事故が最も多く、全体の47.5%を占めています。

事故種別	令和6年	令和5年	前年比較
火災	26件	21件	5件増加
交通事故	46件	56件	10件減少
水難事故	10件	12件	2件減少
自然災害事故	0件	0件	—
機械による事故	0件	5件	5件減少
建物等による事故	397件	352件	45件増加
ガス・酸欠事故	4件	6件	2件減少
破裂事故	0件	0件	—
その他の事故	353件	313件	40件増加

(3) 室内閉じ込め救助の状況

近年は、ひとり暮らしの高齢者が施錠された自宅の中で倒れて動けなくなり、家族やヘルパー等の支援関係者が室内に入れないといった事案（室内閉じ込め救助）が増加しています。

また、室内閉じ込め救助には、家人が外出していたものや、室内で寝ていたものなど、結果的に、緊急性のなかった事案も少なくありません。

	令和6年	令和5年	前年比較
室内閉じ込め救助の発生件数	597件	512件	85件増加
救助出動全体に占める割合	71.4%	66.9%	4.5ポイント増加
緊急性のなかった事案	268件	229件	39件増加